



情報ページ

Forest Red-tailed Black Cockatoo

Calyptorhynchus banksii naso

アカオクロオウム



雄 (左) 雌 (中央) 幼鳥 (右)



雄



雌

別名

Red-tailed Black Cockatoo.

西オーストラリア州南西部に分布する *naso* 類 (大きなくちばしを指す) は、John Gould氏によって1837年に名づけられた。それはヌガー人種の “Karrak” (オウムの意味) として知られている。

脅威的な事

“Listed Vulnerable: Schedule 1 – Western Australian Wildlife Conservation Act” と “Vulnerable: under Federal *Environmental Protection and Biodiversity Conservation Act*” に、記載されている。

以前はよくみかけられたが、最近はまれに生息地の部分的なところにいる。しかし、そこも確実に減少した。通常つがい、大小グループ (希200羽) で行動している。

その数は、森林の伐採、地下に巣をつくる先住と移住してきた動物の争い、山火事によって減少した。西オーストラリア州には、

Red-tailed Black Cockatoo

属が3種類いる (マップ参照)。南西部に分布している *naso* 類だけが、危急 (Vulnerable) として記載されている。

形態

体長 53–55 cm. 体重 600–610 g.

雄: 羽毛は光沢ある黒だが、尾羽は赤褐色の線が尾の後方に向かっている。くちばしは濃厚な灰色または黒にちかい。

雌: 羽毛は光沢ある黒、頭と翼の短い羽には薄い黄色の斑点があり、胸腹部の羽はオレンジと黄色の縞模様。尾羽はオレンジと黄色の縞模様の間隔狭く覆われ、尾羽内側の短い羽はオレンジ色。くちばしは薄い灰色がかった白色。

幼鳥: 雌と似ているが頭、頬、翼の斑点は更に薄い黄色で、濁った薄黄色の縞模様が胸腹部にみられる。外尾羽は鮮明な赤または赤褐色の縞模様で、くちばしは濃い灰色か黒みががっている。

鳴き声

大きな耳さわりの声で “Karee” ” Karrak” 、” Krar-raak” と鳴く。他にも “chet” や、鼻にかかった息苦しそうな音をだす。雄の求愛の鳴き声は、継続的で機械的に “waa-waa” 。

繁殖

Marri, Jarrah, Wandoo, Karri, Bullich の樹洞に巣をつくる。

3月から12月の間に、樹洞に木片、小枝をおいてその上に1個卵をうむ (希に2個)。孵化期間は29日から31日で、雌だけが卵の孵化にたずさわる。雛鳥は少量の綿羽に覆われている。

寿命: 25–50年。



雌アカオクロオウムの巣

分布

この種類は、オーストラリア州南西部の湿地帯内陸部に分布しており、北はGingin(別名Dandaragan)から西の Mt Helena(別名Toodyay), Christmas Tree Well, North Bannister(別名Wandering), Mt Saddleback, Kojonup, Rocky Gully, King River 上流から西へ Green Range まで広がる。これらは西オーストラリア州独特の種類である。

生息地と食餌

ユーカリ森林に生息する。Marri, Jarrah, Blackbutt, Karri, Sheoak, Snottygobbleの実を食べる。また, eucalypts and 移植されてきた Cape Lilacも食べる。

属の脅威

森林の伐採、繁殖時期の山火事、ヨーロッパみつばち、オーストラリアのShelduckとWood Duckの増殖は属の巣の樹洞を取り去る。また、車、トラックによる接触事故。

参照

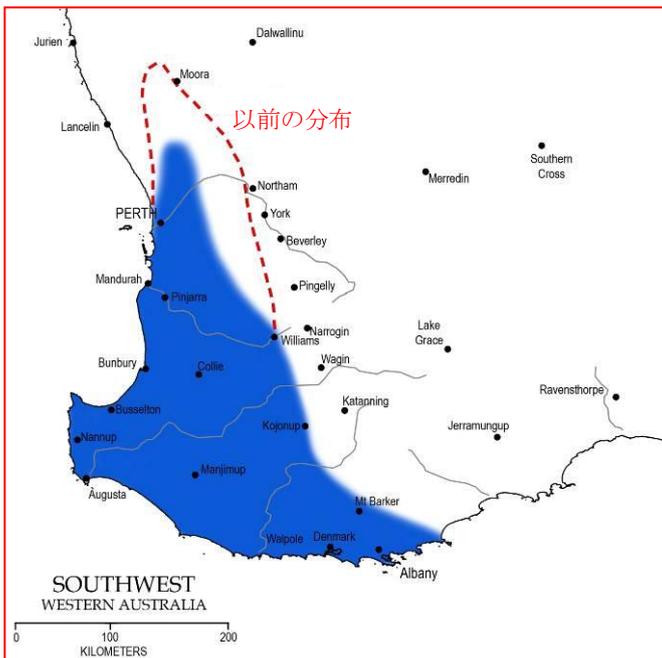
Johnstone, R.E. and Storr, G.M. (1998) *Handbook of Western Australian Birds. Volume 1 – Non-passerines (Emu to Dollarbird)*. Western Australian Museum pp. 278–280.

Johnstone, R.E. and Kirkby, T. (1999) Food of the Forest Red-tailed Black Cockatoo *Calyptorhynchus banksii naso* in south-west Western Australia *West Aust. Nat.* **22**(3): 167–177

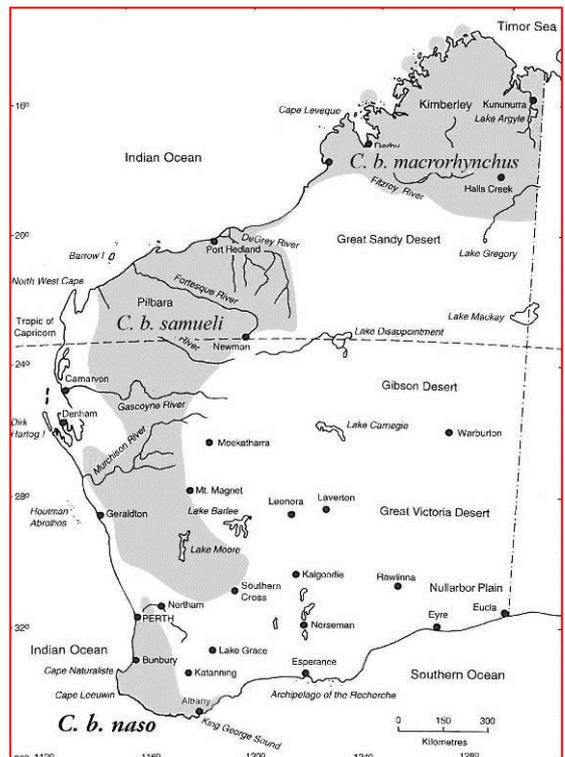
訳 : Kimiko O



アカオクロオウムに食べられたマリーの実



西オーストラリア州南西部における現在の分布



西オーストラリア州における3種類のアカオクロオウム属の分布